



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年7月31日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4512 URL http://www.wakamoto-pharm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 信行  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 康彦 TEL 03-3279-0371  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,489	6.1	△7	—	71	542.8	35	—
25年3月期第1四半期	2,345	—	△44	—	11	—	△71	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.02	—
25年3月期第1四半期	△2.05	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	17,761	12,692	71.5	364.97
25年3月期	17,552	12,638	72.0	363.37

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,692百万円 25年3月期 12,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,900	3.8	△220	—	△170	—	△120	—	△3.45
通期	10,000	0.7	40	88.6	190	5.8	90	△50.9	2.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	34,838,325株	25年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	61,416株	25年3月期	56,791株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	34,778,654株	25年3月期1Q	34,792,104株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、一般用医薬品市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあって当社の医薬事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼペリン点眼液0.1%」「リズモンTG点眼液」等の点眼剤、緑内障・高眼圧症治療点眼後発薬「ラタノプロスト点眼液0.005%わかもと」・「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」、眼科手術補助剤・硝子体内注用副腎皮質ホルモン剤「マキユエイド硝子体内注用40mg」および共同販売医家向けサプリメント「オキュバイト」シリーズ等の販売促進を行ってまいりました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズをリニューアルした「アバンビーズDX」シリーズとして「アバンビーズDX歯周病予防」「アバンビーズDX口臭予防」「アバンビーズDXダンプランシユ美白」「アバンビーズDX知覚過敏予防」「アバンビーズDX コーラルε（イプシロン）」の5製品および新発売した「わかもと整腸薬ビナチュラ」の販売促進を行ってまいりました。

特販事業では、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品を、海外向けに「わかもと」、乳酸菌および点眼剤の製造販売に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は24億8千9百万円（前年同期比6.1%増）、営業損失7百万円（前年同期は営業損失4千4百万円）、経常利益は7千1百万円（前年同期は経常利益1千1百万円）、四半期純利益は3千5百万円（前年同期は四半期純損失7千1百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では「マキユエイド硝子体内注用40mg」、「オキュバイト」の売上が増加しましたが、「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼペリン点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」が減少いたしました。その結果、売上高は13億9千8百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」の売上が増加し、その結果、売上高は4億8千4百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

特販事業では、国内向他社受託品が増加し、また輸出用「わかもと」が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は6億5百万円（前年同期比39.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、177億6千1百万円となり前事業年度末比2億9百万円(1.2%増)の増加となりました。流動資産は95億5百万円となり1千6百万円(0.2%増)の増加、固定資産は82億5千6百万円となり1億9千3百万円(2.4%増)の増加となりました。

固定資産が増加いたしましたのは、本社跡地の室町東地区開発の進展に伴い、建設仮勘定が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、50億6千9百万円となり前事業年度末比1億5千5百万円(3.2%増)の増加となりました。流動負債は32億1千4百万円となり8億1千9百万円(34.2%増)の増加、固定負債は18億5千5百万円となり6億6千3百万円(26.3%減)の減少となりました。

流動負債が増加いたしましたのは、その他に含まれる未払費用が増加したこと、一年以内返済予定の長期借入金（固定負債）を短期借入金に振替えたことが主たる要因であります。一方、固定負債が減少いたしましたのは、前述のとおり長期借入金が増加したことが主たる要因であります。（借入金総額は4千9百万円減少）

純資産の部は、126億9千2百万円となり前事業年度末比5千3百万円(0.4%増)の増加となりました。利益剰余金が増加したことが主たる要因であります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の72.0%から71.5%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,533,559	2,663,087
受取手形及び売掛金	3,793,239	3,759,831
有価証券	405,995	406,055
商品及び製品	1,374,749	1,374,769
仕掛品	395,302	459,929
原材料及び貯蔵品	511,353	406,732
繰延税金資産	332,523	227,204
その他	142,030	207,536
流動資産合計	9,488,753	9,505,146
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,464,961	6,515,799
減価償却累計額	△3,642,020	△3,700,262
建物（純額）	2,822,940	2,815,537
構築物	272,592	272,589
減価償却累計額	△187,264	△190,712
構築物（純額）	85,328	81,877
機械及び装置	7,179,602	7,232,820
減価償却累計額	△6,195,971	△6,262,498
機械及び装置（純額）	983,630	970,322
車両運搬具	39,046	32,966
減価償却累計額	△36,097	△30,706
車両運搬具（純額）	2,948	2,260
工具、器具及び備品	796,206	800,108
減価償却累計額	△729,517	△736,108
工具、器具及び備品（純額）	66,688	63,999
土地	341,552	341,552
建設仮勘定	311,418	437,592
有形固定資産合計	4,614,507	4,713,142
無形固定資産		
特許実施権	300,000	300,000
特許権	942	912
ソフトウェア	70,588	143,521
ソフトウェア仮勘定	73,781	—
その他	5,943	5,918
無形固定資産合計	451,255	450,352
投資その他の資産		
投資有価証券	1,971,059	1,998,983

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年 6月30日)
保険積立金	592,805	597,035
関係会社出資金	1,777	—
繰延税金資産	341,164	408,703
その他	90,859	88,509
投資その他の資産合計	2,997,666	3,093,233
固定資産合計	8,063,429	8,256,728
資産合計	17,552,183	17,761,874
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,111,387	1,088,333
短期借入金	332,000	928,000
未払法人税等	56,745	8,146
未払消費税等	39,635	10,900
賞与引当金	262,100	90,002
返品調整引当金	13,000	12,000
その他	579,759	1,076,862
流動負債合計	2,394,628	3,214,245
固定負債		
退職給付引当金	1,406,908	1,388,252
役員退職慰労引当金	9,600	9,600
長期借入金	1,102,000	457,000
その他	316	316
固定負債合計	2,518,824	1,855,168
負債合計	4,913,452	5,069,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,085,089	6,120,586
自己株式	△15,956	△17,386
株主資本合計	12,140,846	12,174,912
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	497,884	517,548
評価・換算差額等合計	497,884	517,548
純資産合計	12,638,731	12,692,461
負債純資産合計	17,552,183	17,761,874

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,345,643	2,489,801
売上原価	1,109,366	1,076,799
売上総利益	1,236,276	1,413,002
販売費及び一般管理費	1,281,029	1,420,916
営業損失(△)	△44,752	△7,914
営業外収益		
受取利息	95	75
受取配当金	17,783	19,288
受取地代家賃	6,275	6,615
受取技術料	34,062	36,838
その他	24,378	37,321
営業外収益合計	82,595	100,138
営業外費用		
支払利息	7,145	6,212
固定資産除却損	574	1,553
寄付金	2,840	7,990
その他	16,129	4,783
営業外費用合計	26,690	20,540
経常利益	11,152	71,684
特別利益		
固定資産売却益	—	139
役員退職慰労引当金戻入額	136,300	—
特別利益合計	136,300	139
特別損失		
投資有価証券評価損	158,622	—
関係会社清算損	—	1,777
特別損失合計	158,622	1,777
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△11,170	70,046
法人税、住民税及び事業税	4,000	4,400
法人税等調整額	56,097	30,150
法人税等合計	60,097	34,550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△71,267	35,496



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,437,851	469,087	434,101	2,341,041	4,602	2,345,643	—	2,345,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,437,851	469,087	434,101	2,341,041	4,602	2,345,643	—	2,345,643
セグメント利益又は 損失(△)	△61,274	17,254	△2,020	△46,041	1,288	△44,752	—	△44,752

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,398,804	484,596	605,527	2,488,928	873	2,489,801	—	2,489,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,398,804	484,596	605,527	2,488,928	873	2,489,801	—	2,489,801
セグメント利益又は 損失(△)	△83,236	△67,443	141,970	△8,708	794	△7,914	—	△7,914

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。